

世界リーディング・ ユニバーシティに向けて



東北大学は、1907年(明治40年)の建学以来、「研究第一」、「門戸開放」、「実学尊重」の理念を掲げ、世界最高水準の研究・教育を創造してきました。本冊子では、本学の様々な取組の中でも2007年度における特筆すべき取組を紹介しています。

いま、人類社会は地球規模で克服すべき様々な複雑かつ困難な課題に直面しています。東北大学は100年という歴史の中で継承してきた知の蓄積と、絶えざる研究・教育の創造を通して、前途に横たわる諸課題に堂々と立ち向かう先導力を持つ「世界リーディング・ユニバーシティ」になる決意をしています。

そのために、本学では2007年3月に「井上プラン2007」を策定し、教育、研究、社会貢献、キャンパス環境、組織・経営という5つの柱ごとにアクションプランをとりまとめました。

その公表から1年半。この間の本学の取組をみると、着実に進捗しているプランが数多くあります。一例を挙げると、教育面では、本学独自の新たな教養教育カリキュラムの構築と実施体制の整備を進めています。研究面では、世界トップレベル国際研究拠点形成促進プログラムによる国内5拠点の一つとして本学の構想が採択され、「原子分子材料科学高等研究機構」を発足させました。さらに、産学連携事業等を通じた新実業の創出の先導、世界に開かれた国際水準キャンパスの整備、国際競争力を支える人事システムの構築、東北大学基金の創設など、オリジナリティに溢れた取組を進めています。

“2008年”、東北大学は新たな100年の歴史の創造に向けて確かな一歩を踏み出しました。「世界リーディング・ユニバーシティ」になるという目標は、一朝一夕に実現できるものではありません。しかし、これからの進むべき道程を明確にし、東北大学が果たすべき使命及び活動を皆様にご理解いただくとともに、多くの方々と共に挑戦していくことにより、社会から信頼、尊敬、そして愛情を受けられる大学として人類社会の発展に貢献して参る所存です。

東北大学総長

井上 明久

井上プラン2007

(2008年度改訂版)

井上総長率いる総長室が中心となり、2007年度から取り組んでいる東北大学アクションプランの最新版。昨年度に策定した5つの重点課題について、引き続き着実に実践していくことはもちろん、環境の変化に応じた見直しを不断に実行し、テーマアップしていくという決意を盛り込み、さらなる進化を目指す内容となっている。

2007年4月～2008年8月のレポート

2007	
4. 1	・国際高等研究教育機構設置
4. 5	・「井上プラン2007～リーディング・ユニバーシティに向けて～」を公表 ・平成19年度東北大学入学式
4. 20	・東北大学中国代表事務所設立(於:北京市)
6. 21	・藤野先生と魯迅先生の胸像除幕式
6. 22	・東北大学創立100周年 学章・スクールカラー等制定式
7. 28, 29	・東北大学創立100周年記念事業 片平まつり
7. 30, 31	・オープンキャンパス
8. 25, 26	・東北大学100周年記念まつり
8. 27	・東北大学100周年記念式典
9. 25	・東北大学学位記授与式
10. 1	・原子分子材料科学高等研究機構設置
10. 6	・東北大学創立100周年記念 第1回「青春のエッセー 阿部次郎記念賞」授与式 ・東北大学100周年記念仙台セミナー 「“超大国”中国とのつき合い方～新局面の日中関係と大学の役割～」
10. 6, 7	東北大学ホームカミングデー
12. 11	・東北大学100周年記念セミナー第8回(於:東京都) 「世界をリードする科学技術者の育て方—新エリート養成への日仏の挑戦—」
2008	
2. 1	・未来医工学治療開発センター設置
2. 5	・東北大学藤野先生記念奨励賞授与式
2. 25, 26	・平成20年度東北大学一般選抜入学試験「前期日程試験」
3. 12	・平成20年度東北大学一般選抜入学試験「後期日程試験」
3. 25	・東北大学学位記授与式
4. 1	・大学院医工学研究科設置 ・ディスティングイッシュトプロフェッサー25名発令
4. 2	・「井上プラン2007(東北大学アクションプラン2008年度改訂版)」を公表 ・平成20年度東北大学入学式
7. 30, 31	・オープンキャンパス
8. 1	・ディスティングイッシュトプロフェッサー5名発令

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/president/open/plan/plan2008.pdf>



1	教 育	『知の継承体』として、築き上げてきた知を教授する教育システムの再構築を図り、『知の創造体』を担う高度な教養、専門的な知識及び国際的な視野を備えた指導的人材を育成する。
2	研 究	『知の創造体』として、戦略的独創研究と長期的視野に立つ基盤研究推進のために東北大学独自の最先端の研究体制の再構築を図り、世界トップレベルの研究成果を創出する。
3	社 会 貢 献	「世界と地域に開かれた大学」として、東北大学の人的・知的資源を広く社会に還元して、人類社会全体の発展に貢献する。
4	キャンパス環境	『知の創造体』、『知の継承体』として本学が展開する多様な教育研究活動を支える国際水準のキャンパス環境を整備する。
5	組 織 ・ 経 営	『知の経営体』へと変革し、本学を取り巻く環境の変化や時代の要請に対応できる財政基盤をはじめとする経営基盤を確立する。